

持続可能な町を目指して

Vol.3

～令和2年度からの新たな人口対策～

「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略【2020改訂版】」での新たな人口対策は、「子育てしやすいまち」「仕事のやりがいを感じるまち」「住みたいまち」「安心して暮らせるまち」を実現し持続可能なまちとするため、次の4つの基本目標を掲げ、具体的な施策に取り組んでいきます。

小野町まち・ひと・しごと 創生総合戦略【2020改訂版】

【基本目標1】

結婚・出産・子育て・教育に
楽しみやうれしさを実感できる
まちづくり

【基本目標2】

活気にあふれ、賑わいを
実感できるしごとづくり

【基本目標3】

新しいひとの流れづくり

【基本目標4】

未来に向かって安全で安心して
生活できるまちづくり

小野町人口ビジョン

中長期展望
(令和42年を視野)

(1)人口の分析

- ・本町の総人口は、昭和30年から減少を続けてきましたが、今後は、これまでも増して急速に減少する見込みです。
- ・転出は横ばいですが、転入が減少傾向にあり、社会減が進んでいます。
- ・少子高齢化により自然減が進んでいます。
- ・出生率は、全国や福島県平均より高くなっていますが減少傾向です。

(2)人口の将来展望

- ・急速な人口の減少は、本町の姿を大きく変え、町民の生活が混乱することから、減少の幅を緩やかにする必要があります。
- ・令和42年の人口
「6,554人以上」

平成27年度に策定した人口ビジョンにおいて、社人研による人口推計より約2,100人程度減少を抑制することを目指していました。今回新たに試算を行ったところ、前回同様の人口推移の傾向が見られたため、引き続き前回と同じ目標を目指します。



【基本目標2～4】は次号以降、内容を掲載します。